

2015年3月18日
イオン株式会社

**イオンのダイバーシティ推進“ダイ満足”の取り組みが評価され
経済産業省の「平成26年度 ダイバーシティ経営企業100選」に選定**

イオンは3月18日（水）、多様な人材を活用して、イノベーションの創出、生産性向上等の成果を上げている企業の1社として、経済産業省が推進する「平成26年度 ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。



イオンは「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、前身の岡田屋時代より、人権を尊重し、国籍・人種・性別・学歴・宗教・心身に障がいのあることなどを理由とした差別を一切行わず、多様な人材が活躍できる企業を目指してきました。

2013年には、「日本一女性が働きやすく、活躍できる会社 日本一女性が働きたい会社」を目指し、グループの女性管理職比率を2016年までに30%、2020年までに50%にするという目標を掲げました。その目標の実現に向けて、同年、グループCEO直轄組織として「ダイバーシティ推進室」を設置しました。同推進室のイニシアチブのもとグループ各社において推進体制を整備、ダイバーシティがうみだす「従業員・家族」「お客さま」「会社」の満足を“ダイ満足”と表してグループを挙げてダイバーシティ経営を強力に推進し、その成果が徐々に表れています。成果の1つとして、2014年、イオンモール幕張新都心の事業所内に「イオンゆめみらい保育園」を新設し、従業員が保育時間等の理由により勤務が制限されることなく継続して活躍でき、自らの働き方を選択することが可能となったことが挙げられます。



“ダイ満足”のロゴマーク

- ・「ダイ満足アワード」…ダイバーシティ推進企業の表彰（毎年）
- ・「ダイ満足サミット」…ダイバーシティ推進リーダーの会議
- ・「ダイ満足カレッジ」…グループ共通課題の解決に向けた学びの場

これらの取り組みが評価され、この度の経済産業省が推進する「平成26年度 ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。これは、本年3月6日の特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク*（略称：NPO法人 J-Win）が主催する『2015 J-Win ダイバーシティ・アワード』において小売業で初となる「ベーシックアチーブメント大賞」受賞に続くものです。

■「ダイバーシティ経営企業100選」について

経済産業省は、様々な規模・業種の企業における「ダイバーシティ経営」への積極的な取り組みを「経済成長に貢献する経営力」として評価し、ベストプラクティスとして発信することで、ダイバーシティ推進のすそ野を広げることを目的として、「ダイバーシティ経営企業100選」（経済産業大臣表彰）事業を実施しています。平成24年度から開始し、同年は43社、平成25年度には46社、平成26年度には、52社を選定しています。「優れたダイバーシティ経営企業」として選定・表彰された企業については、ベストプラクティス集として取り組み内容を広く紹介され、多様な人材の積極的活用に向けた動きの加速化を図っています。

■イオンの選定理由について

ダイバーシティ推進の以下の具体的な取り組みが経営に結果をもたらしたと評価され、この度の「ダイバーシティ経営企業100選」表彰となりました。

- ・2013年に「2020年までに女性管理職比率を50%にする」と宣言していること。
- ・2013年にダイバーシティ推進室をグループCEOの直下に設置し、グループとしてのダイバーシティの取り組みを大きく牽引していること。
- ・成功事例の1つとして、女性従業員が新たな商品の市場開拓や商品開発に加わる組織を作り、お客さま1人ひとりに丁寧に接客する対面販売の導入により衣料品の売り上げ増大に貢献している。総合生活支援の㈱カジタクなどのグループ企業においても、女性による具体的提案が新サービスへと繋がっていること。
- ・中国、アセアン各国のグループ企業において経営者育成教育を充実させたことが、外国籍従業員定着化に繋がっていること。海外グループ企業の現地従業員や国内約2,400人の外国籍従業員との連携により訪日外国人に向けたサービスの向上を図ったこと。

■関連サイト

- ・イオンの取り組み：イオンのホームページ イオン環境・社会報告書「ダイバーシティの推進」
<http://www.aeon.info/export/sites/default/common/images/environment/report/2014pdf/full/09.pdf>
- ・経済産業省 「平成26年度 ダイバーシティ経営企業100選」
<http://www.diversity100sen.go.jp/>

以 上